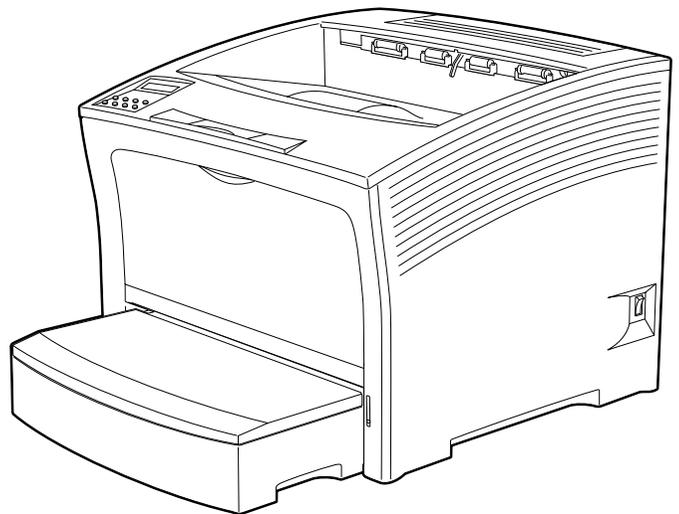


設置 編



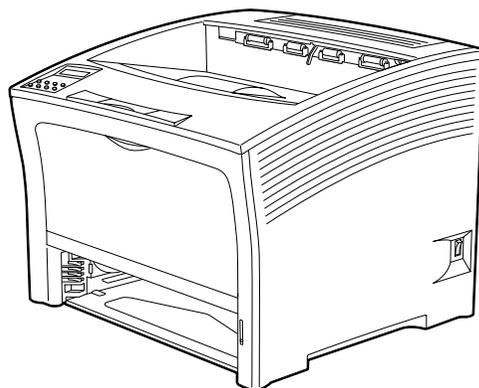
箱を開けて確認します

プリンターの箱を開けると、次のものが入っています。箱を開けて、すべてのものが揃っているかどうか確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあつた場合には、お手数ですが、お買い上げの販売店までご連絡ください。

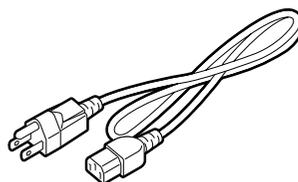
MEMO

箱や梱包材は、プリンターを移動したり、輸送したりする際に必要です。大切に保管しておいてください。

プリンター本体



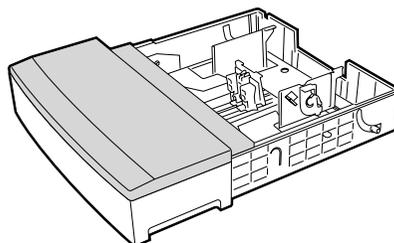
電源コード



給紙カセット

用紙をカセット給紙するときに使用します。

A 5 サイズから A 3 サイズまでの用紙を給紙することが可能なユニバーサル・タイプです。

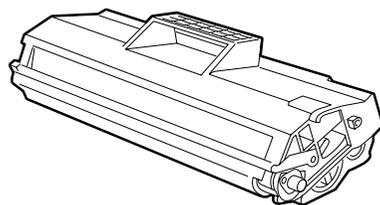


EPカートリッジ

印刷用トナーが入っている専用カートリッジです。消耗品ですので、トナーがなくなったら新しいもの（別売）と交換してください。EPカートリッジの交換方法は「EPカートリッジを交換する」、購入については「付録B サプライ品・オプション製品の紹介」で説明しています。

参照してください。

-  「EPカートリッジを交換する」 P.91
-  「付録B サプライ品・オプション製品の紹介」 P.212

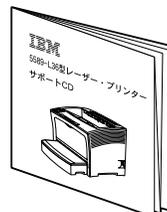


サポートCD

ハードウェアをサポートするためのマニュアル（設置・操作ガイド（本書）、保守マニュアル）及びプリンター・ドライバーが入っています。使用方法は、「プリンター・ドライバーをインストールする」で説明します。

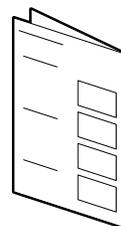
CDケースのジャケットには簡単ガイド<印刷編>が折り込みで入っています。装置の近くに置いて日常のご使用にお役立てください。

-  「プリンター・ドライバーをインストール及び設定する」 P.38



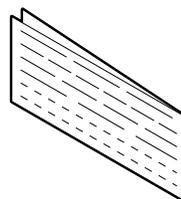
簡単ガイド<設置編>

装置の設置について要約した資料です。設置時にお役立てください。



保証書

内容をお読みにになり、必要事項がすべて記入されていることを確認のうえ、保管しておいてください。
(梱包箱の側面にあります)



この他に必要なもの

プリンター・ケーブル

プリンターとシステム・ユニットを接続するケーブルです。ご使用になるシステム・ユニットに適したものをお使いください。

使用できるケーブルについては「付録B サプライ品・オプション製品の紹介」、またはご使用になるシステム・ユニットの説明書を参照してください。

 「付録B サプライ品・オプション製品の紹介」 P.212

用紙

使用できる用紙については、「付録A 用紙について」で説明しています。参照して、本プリンターに適したものをお使いください。

 「付録A 用紙について」 P.207

MEMO

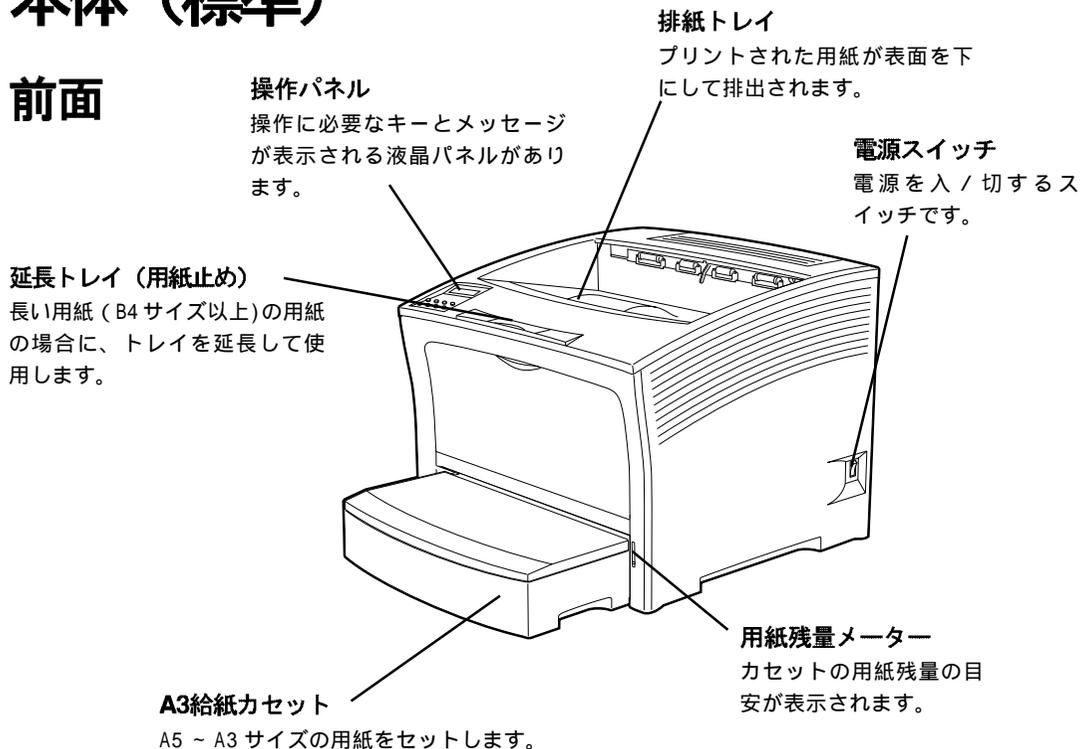
サプライ品およびオプション製品については「付録B サプライ品・オプション製品の紹介」で紹介しています。

「付録B サプライ品・オプション製品の紹介」 P.212

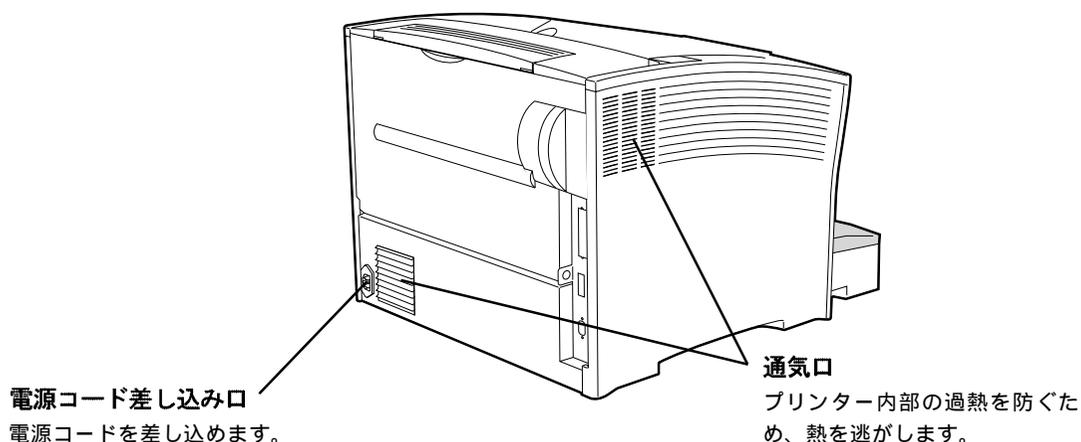
各部の名称と働き

本体（標準）

前面



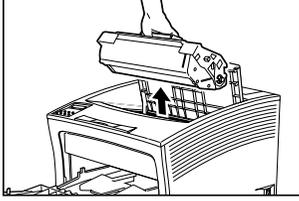
背面



内部

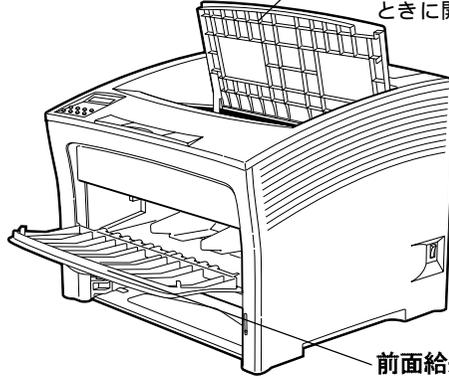
EPカートリッジ

トナーと感光体（ドラム）が一体化されています。



上面カバー

EP カートリッジを交換するときや、詰まった用紙を取り除くときに開きます。



前面給紙トレイ

B4 ~ A3 の用紙をセットするときには、開けたままで使用します。はがきなどの小さい用紙をセットするときには、引き出してからセットします。

定着器

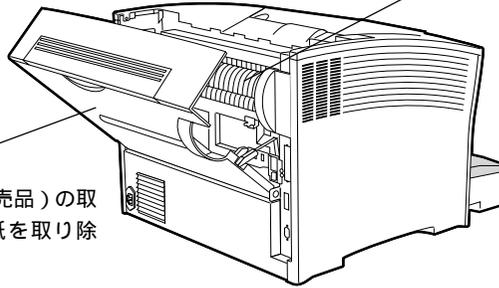
用紙にトナーを定着します。

⚠注意

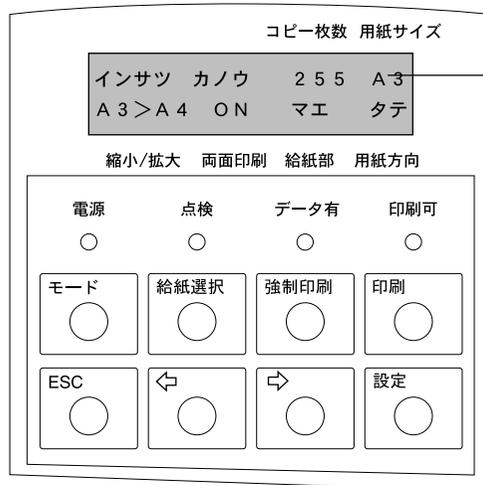
印刷直後の定着器は、高温になっています。紙詰まりを処理するときは、必ず電源スイッチを切ってから40分以上経過したあとに行ってください。

排紙部カバー

両面印刷ユニット（別売品）の取り付けや詰まった用紙を取り除くときに開きます。



操作パネル



表示部

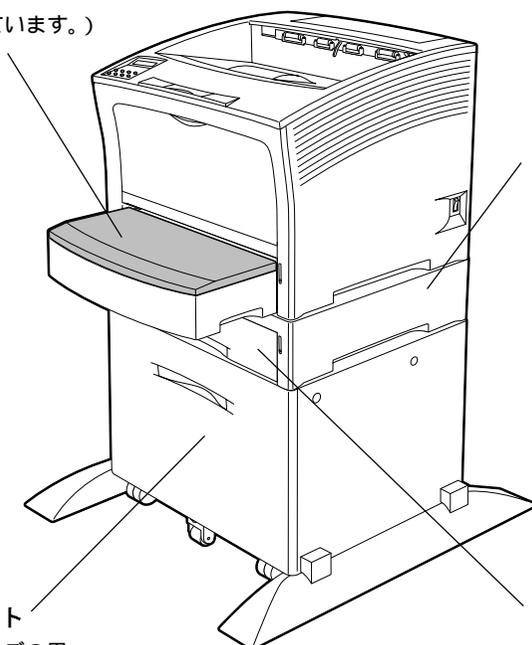
エラーメッセージなどを表示します。

オプション構成

前面

A3給紙カセット

A5 ~ A3 サイズの用紙をセットします。
(本体に1個付属しています。)



500枚給紙ユニット

A3 給紙カセット、A4 給紙カセットを装着することができます。

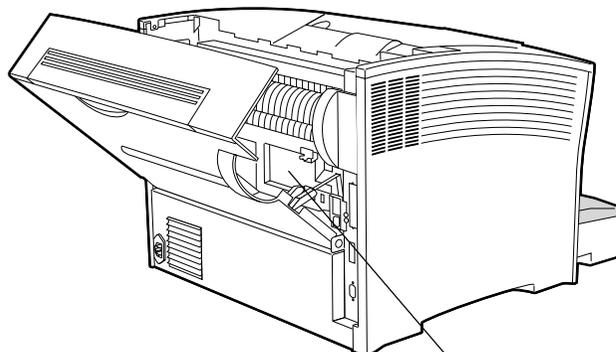
2000枚給紙ユニット

A4 またはレターサイズ of 用紙をセットすることができます。

A4給紙カセット

はがき ~ A4 のサイズの用紙をセットすることができます。

背面



両面印刷ユニット

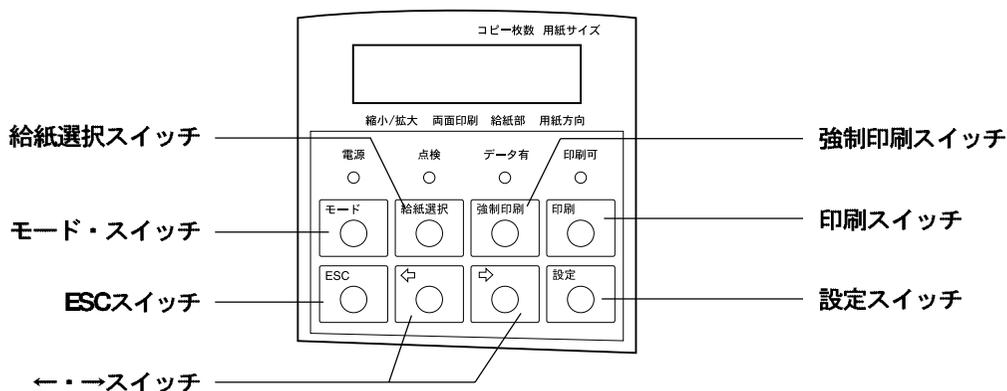
用紙の両面に印刷することができます。

操作パネルの使い方

操作パネルには、メッセージが表示されたり、設定を行ったりする液晶表示部と、各種の印刷操作のためのスイッチやランプがあります。各スイッチのはたらき、ランプや液晶表示部の見かたを説明します。

スイッチの使い方

各スイッチは、印刷の際のいろいろな操作やメニューで設定を行うときに使います。



モード・スイッチ

メニューを使って各種設定を行うモードに切り替えます。メニューでの設定を終了するときにも、このスイッチを押します。

「モード設定の基本操作」(P.100)を参照してください。
データ有ランプが点灯/点滅しているときには、使用できません。



ESCスイッチ

モード設定時、メニューを使って各種設定を行う際に、1つ前の状態に戻すはたらきをします。

「モード設定の基本操作」(P.100)を参照してください。
印刷不可状態で押した場合の機能については、
「リセット、印刷の取り消しをするには」(P.66)を参照してください。



←・→スイッチ

モード設定時、メニューを使って各種設定を行う際に、選択したい項目を表示するのに使用します。

「モード設定の基本操作」(P.100)を参照してください。



設定スイッチ

モード設定時、メニューを使って各種設定を行う際に、選択した項目を設定するのに使用します。

「モード設定の基本操作」(P.100)を参照してください。



リセット・スイッチ

(ESCスイッチを押しながら設定スイッチを押す)

リセットを行います。リセットを行うと、電源をOFFにして続いてONにしたのと同じ状態になり、強制的に印刷を取り消し、受け取り済みのデータを消去し、各設定値を初期値に戻します。

「リセット、印刷の取り消しをするには」(P.66)を参照してください。



印刷スイッチ

印刷可能状態と、印刷不可状態を切り替えます。押すたびに、印刷可ランプの点灯(印刷可能)と消灯(印刷不可)が切り替わります。また、アラーム音が鳴っているときに、このスイッチを押すとアラーム音が止まります。



給紙選択スイッチ

現在の給紙部を切り替えます。押すたびに、給紙部(前面給紙トレイ、第1給紙カセット、第2給紙カセット、第3給紙カセット)を示す液晶表示部の給紙頂目表示が切り替わります。

「給紙部を選ぶ」(P.50)を参照してください。



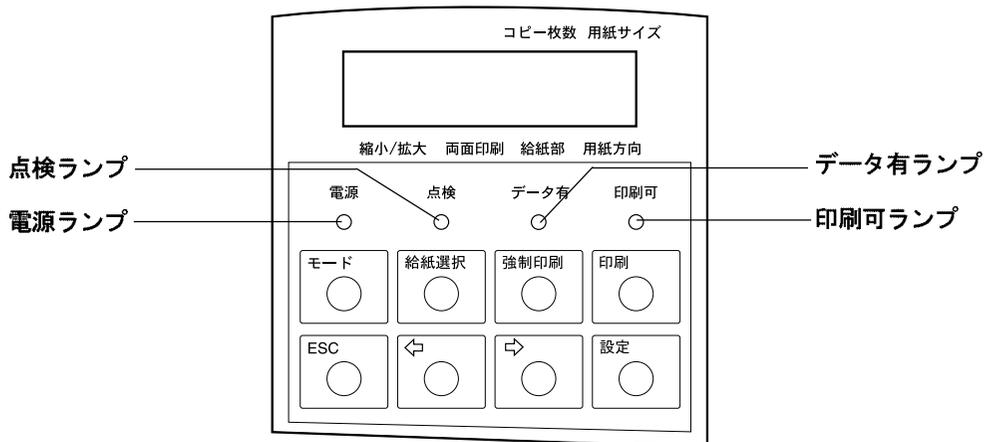
強制印刷スイッチ

プリンター内に残っているデータを強制的に印刷します。

「残ったデータを強制的に印刷するには」(P.65)を参照してください。

データ有ランプが点滅しているときには、使用できません。

ランプの見かた



電源

電源ランプ

プリンターの電源が入っているときに点灯します。

点検

点検ランプ

次のときに点灯し、点灯と同時に液晶表示部に状態を示すエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容によって、原因を判断し対処してください。

- ・ エラーが発生したとき

「エラーメッセージが表示されたとき」 (P.187)

- ・ 用紙がなくなったとき、および紙詰まりが起きたとき
用紙の補給方法については、

「給紙カセットに用紙をセットする」 (P.23) および

「前面給紙トレイに用紙をセットする」 (P.45)

- ・ EPカートリッジのトナーが少なくなったとき

「EPカートリッジを交換する」 (P.91)

MEMO

EPカートリッジのトナーが少なくなった場合、そのままの状態でも印刷を続けると、印字が薄くなったり、印刷されない箇所ができたりします。ただし、EPカートリッジを取り出して左右に振ってみると、再び印刷できるようになることがあります。

左右に振っても、印刷状態がよくなる場合には、トナーが残っていません。新しいEPカートリッジに交換してください。

- ・ 上面カバーが開けられたとき

「詰まった用紙を取り除く」 (P.68)

データ有

データ有ランプ

プリンターがデータを受け取り、印刷するまでの間、点滅します。印刷終了後に消灯します。

印刷終了後もデータが残っている場合には、点灯状態になります。この場合には、強制印刷スイッチを使って強制印刷することができます。

強制印刷については、「残ったデータを強制的に印刷するには」(P.65)で説明しています。

印刷可

印刷可ランプ

印刷可能状態のときに、点灯します。このランプが消灯していると、印刷できません。電源をONしたばかりのときと、パワー・セーブ・モードから印刷可能状態になるまで、このランプが点滅状態になります。

印刷スイッチを押すと、点灯（印刷可能状態）と消灯（印刷不可状態）を切り替えることができます。

- ・点灯（印刷可能状態）

液晶表示部には「インサツカノウ」と表示されます。システム・ユニットからデータが送られてくると、受け取って印刷を行います。

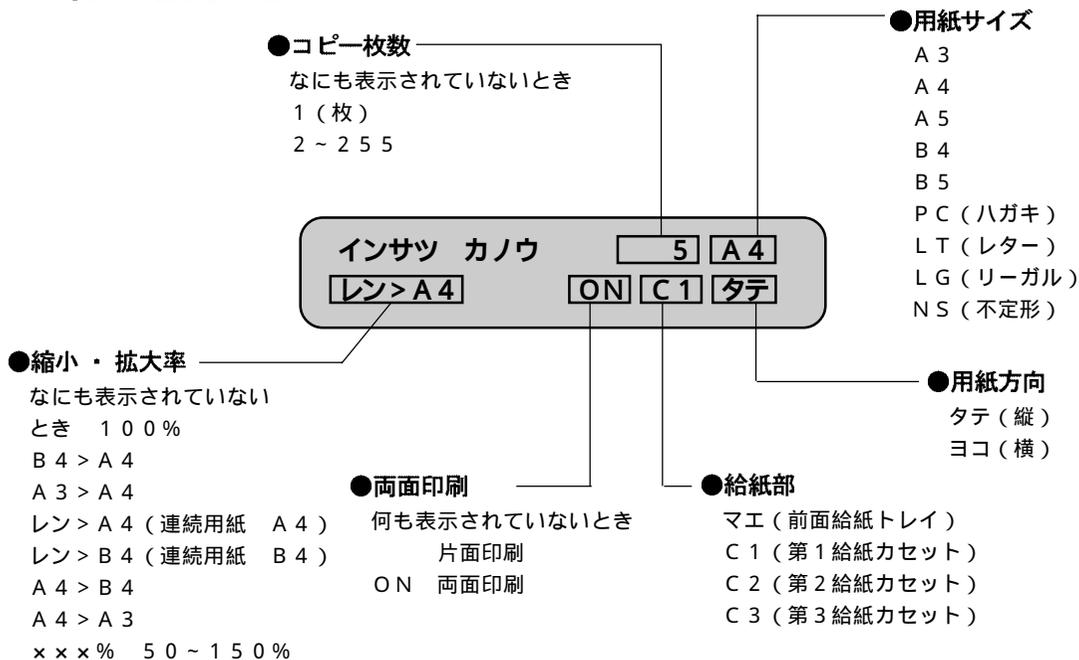
- ・消灯（印刷不可状態）

システム・ユニットからデータが送られても、受け取りません。

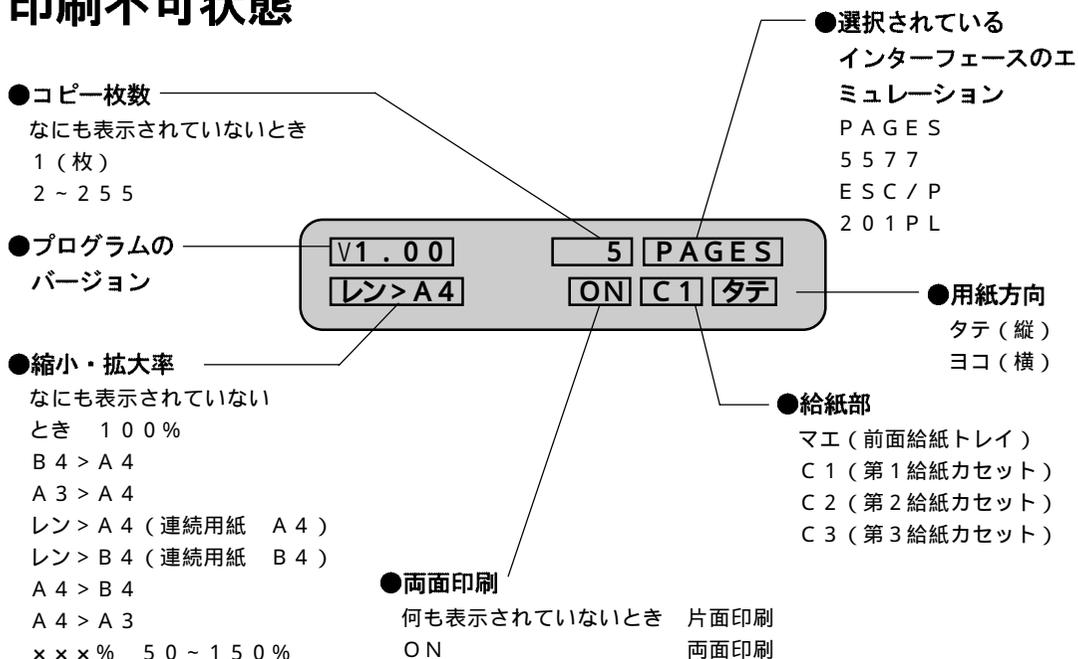
液晶表示部の見かた

液晶表示部には、次のような情報が表示されます。

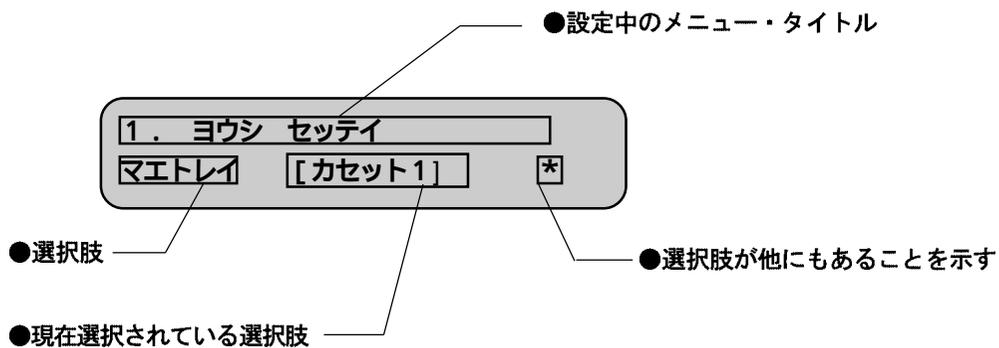
印刷可能状態



印刷不可状態

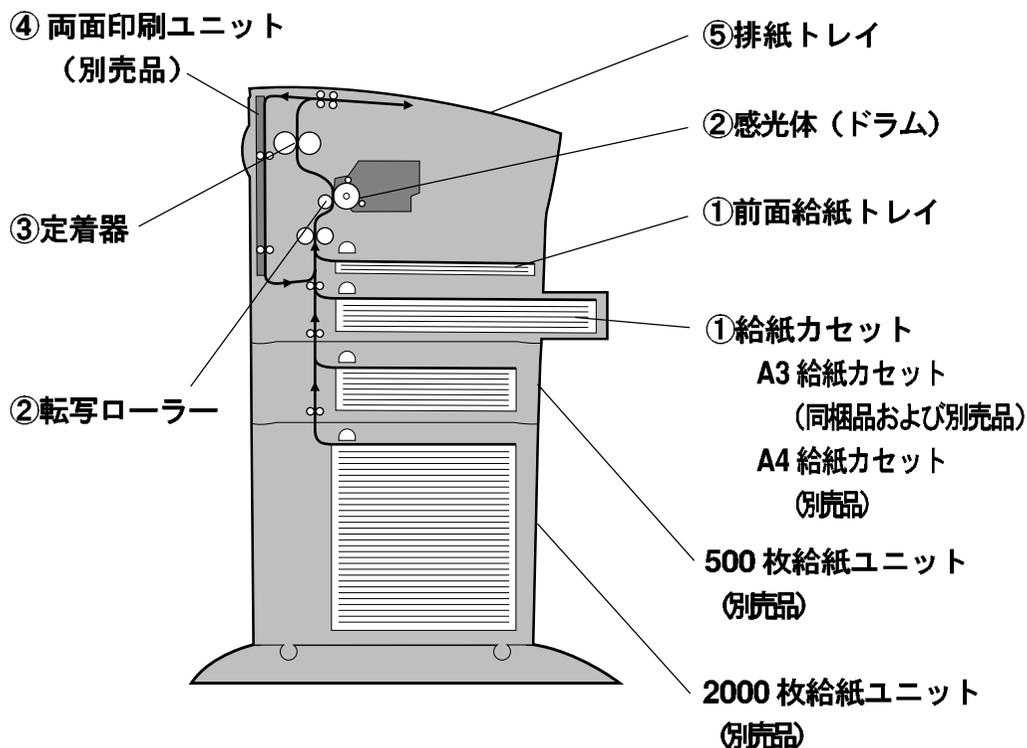


モード設定



用紙の流れ

プリンター内部の用紙の流れは次のようになります。



- ① 前面給紙トレイまたは給紙カセットから、用紙が引き出されます。
- ② 感光体及び転写ローラーで画像が用紙へ転写されます。
- ③ 用紙上のトナー像が定着器によって定着されます。
- ④ 両面印刷ユニットにより用紙が反転します。
- ⑤ 排紙トレイへ用紙が排出されます。

設置についてのご注意

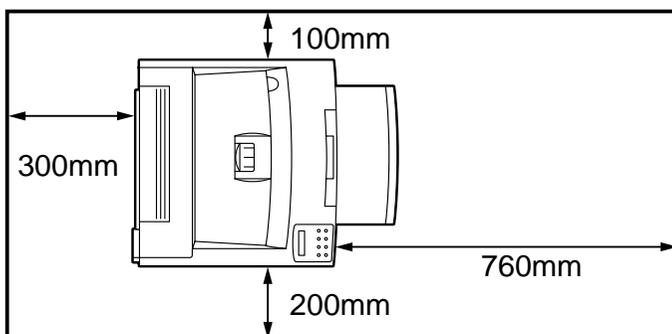
プリンターを設置する場所や条件について、次のことにご注意ください。

設置する場所

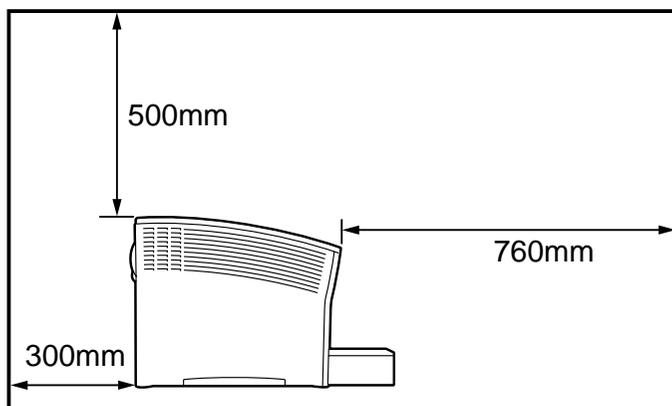
プリンターの側面および背面には通気孔があります。通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、異常発熱の原因となることがあります。

また、プリンターの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンターを正しく使用し、プリンターの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

上面図



側面図



設置する台

注意

不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

設置する台は、プリンターが十分にのる大きさでプリンターの重量（オプションや用紙をセットした状態）に十分耐えられる、水平で安定した台を選んでください。台の高さは、自由ですが、操作がしやすく、操作パネルの表示などがよく見える高さにしてください。

設置場所の条件

良好な印字品質を保つために、設置場所は次のような条件に適したところをお選びください。

温度 10～32° C

湿度 15～85%（結露がないこと）

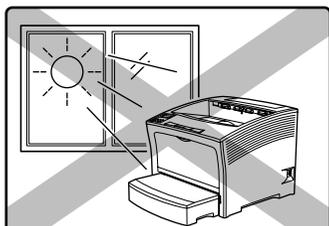
温度が 28° C のときは湿度 70% 以下でお使いください。



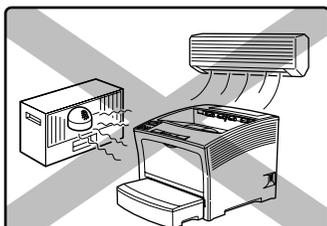
- ・冷え切った部屋を暖房器具などで急激に暖めると、プリンターの内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。
- ・地震のときの移動防止、転倒防止対策については、お買い求めの販売店にご相談ください。

設置してはいけないところ

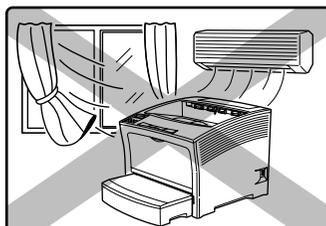
次にあげるような場所には設置しないでください。故障や発火の原因となることがあります。



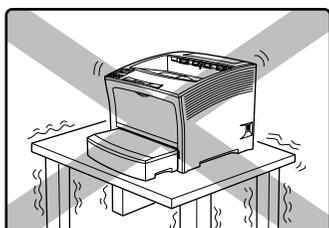
直射日光の当たる場所



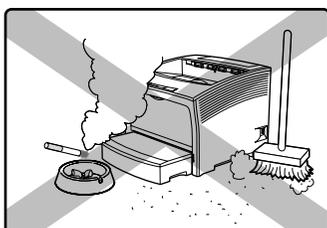
冷暖房器具に近い場所



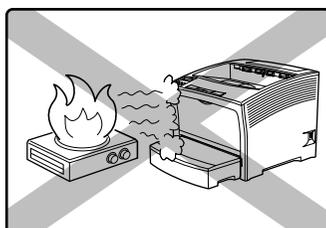
風が直接当たる場所



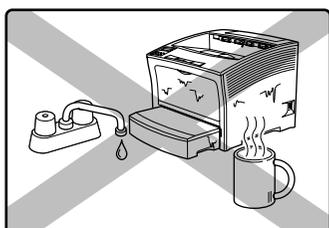
振動のある場所



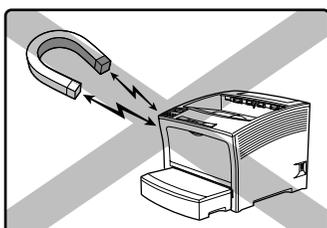
ホコリやチリの多い場所



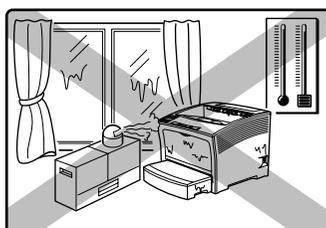
火気に近い場所



水気のある場所



磁力の影響を受ける場所



温度 / 湿度の変化が激しい場所



その他の注意点

- ・ 本体背面の通気孔をふさがないようにしてください。
- ・ 湿度、温度の低い場所から高い場所へ移動したときや、室内温度が急激に変化したときなどはプリンターの内部に結露を生じることがあります。このような場合は、移動後1時間以上放置してから、ご使用ください。

移動するときの注意

プリンターの重さはカセット、消耗品、オプションや用紙が入っていない状態で約25kgです。

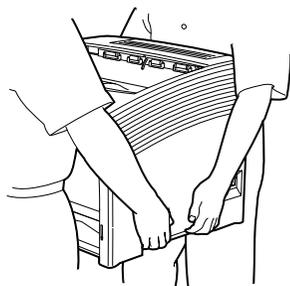
⚠️注意

給紙ユニットは、プリンター本体に固定されていないので、同時に移動させようとする
と落下する恐れがあります。プリンター本体と給紙ユニットは、必ず別々に移動してく
ださい。また、プリンター本体を持ち上げる時、給紙ユニットが確実に離れていること
を確認してください。

更に、給紙カセットおよび用紙は必ず取り外して別々に移動してください。

⚠️危険

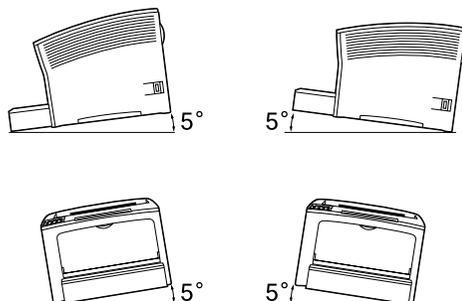
プリンターを移動する前には必ず、電源を切り iv ページに従ってすべてのケーブル類
(電源コード/プリンター・ケーブル/ネットワーク・ケーブル)を抜いてください。プ
リンター正面(操作パネル側)および背面を身体の方に向け、プリンターの左右両側に
両手をしっかりとかけ、必ず2人で持ち上げてください。それ以外を持って、持ち上げ
ることは絶対にしないでください。落下によるけがの原因となることがあります。



プリンターを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意
してください。

プリンターを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてくださ
い。電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

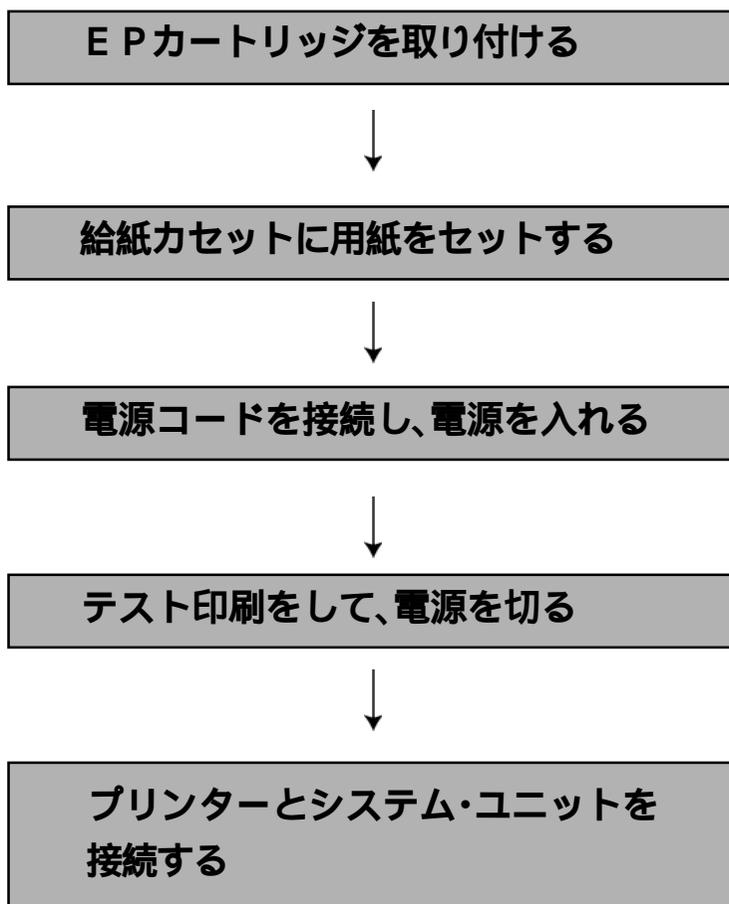
プリンターを移動する場合は、プリンターを5°以上に傾けないでください。転
倒などによるけがの原因となることがあります。



プリンターを設置します

プリンターの設置は次の手順で行います。どんな場合にも必ず必要な手順です。
順番に作業を進めてください。

設置手順の流れ



EPカートリッジを取り付ける

EPカートリッジ取り扱い上の注意

- ・ EPカートリッジは、プリンターにセットするまで、袋から取り出さないでください。
- ・ 袋から取り出したら、EPカートリッジの取り付け作業は、できるだけ早く（5分以内）プリンターにセットしてください。
- ・ 直射日光などの強い光（1500ルクス以上）には絶対に当てないでください。
- ・ ドラム・シャッターにより、EPカートリッジ内の感光体（ドラム）が保護されていますが、感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・ EPカートリッジは立てたり、裏返しにして置かないでください。
- ・ EPカートリッジは、両脇または取っ手を持つようにし、それ以外のところは触れないようにしてください。
- ・ EPカートリッジは、純正品をご使用ください。純正品以外では、良好な印刷が行えないばかりでなく、プリンターの故障の原因となります。純正品以外のカートリッジでの障害に関しましては、保証の対象外となりますので使用しないでください。
- ・ トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。

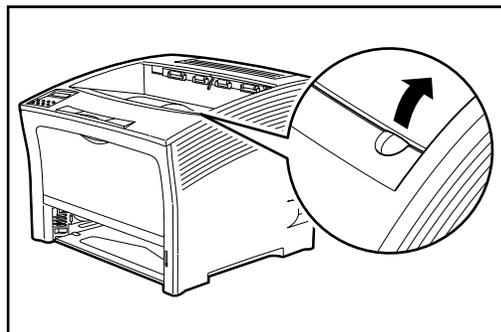
次の手順でEPカートリッジを取り付けます。

操作の手順

- 1 上部カバー前方のくぼみに手を入れ、カバーを開きます。



排紙トレイに印刷済みの用紙がある場合は、上部カバーを開く前に排紙トレイの用紙を取り除いてください。排紙トレイに用紙を載せたまま上部カバーを開くと、紙詰まりなどの原因となることがあります。

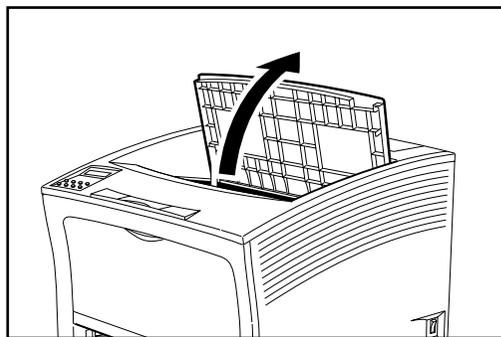


⚠️ 注意

上部カバーを開けるときは、確実に止まるまで開けてください。

また、閉めるときはゆっくりと閉めてください。

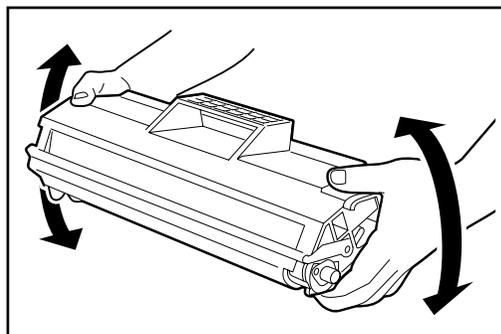
プリンター内部の他の部品には手を触れないでください。



2 EPカートリッジを梱包から取り出し、図のように7~8回振りまわす



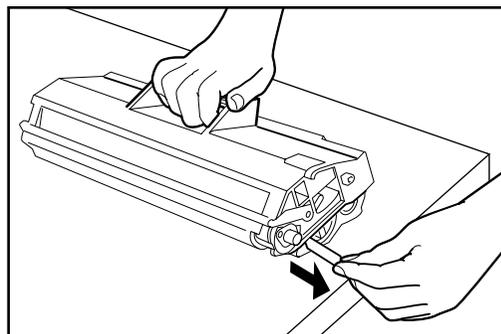
トナーの状態が均一でないと、印刷品質が低下することがあります。また、よく振らないと起動時に異常音やEPカートリッジ内部の破損が発生することがあります。



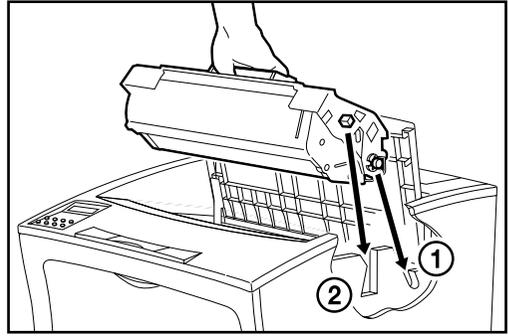
3 EPカートリッジを平らな場所に置き、片手で押さえながらトナーシールを引き抜きます。



- ・トナーシールを引き抜くときは、片手で押さえながらトナーシールを引き抜きます。
- ・トナーシールを引き抜いたあとは、EPカートリッジを振ったり、衝撃を与えないでください。



- 4** EP カートリッジの取っ手を持ち、①EPカートリッジの両側にある突起をプリンター内部の溝に合わせます。次に、②斜めにプリンター内部に挿入します。



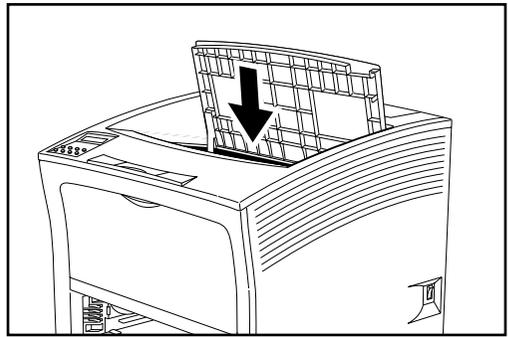
⚠️ 注意

プリンター内部の部品には、手を触れないでください。

- 5** EPカートリッジを奥まで押し込みます。



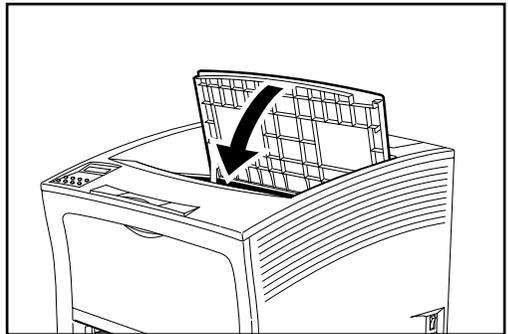
確実にセットされていることを確認してください。



- 6** 上面カバーを元に戻します。上面カバーの中央を上から押して、確実にロックします。



上面カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。



給紙カセットに用紙をセットする

給紙カセットに用紙をセットし、プリンターに取り付けます。



テスト印刷のためには、付属している給紙カセットを使用し、A 4 サイズの用紙をセットしてください。



使用する用紙については、「付録A 用紙について」(P.207)を参照してください。

⚠️ 注意

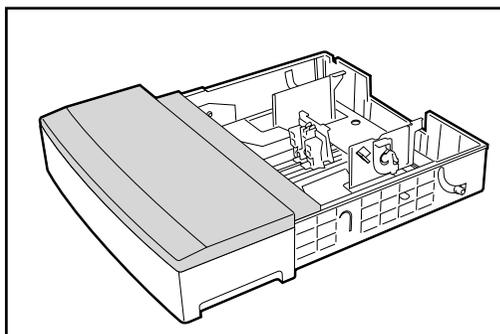
給紙カセットは急激に引き出さないでください。給紙トレイが落下して、けがの原因となります。

操作の手順

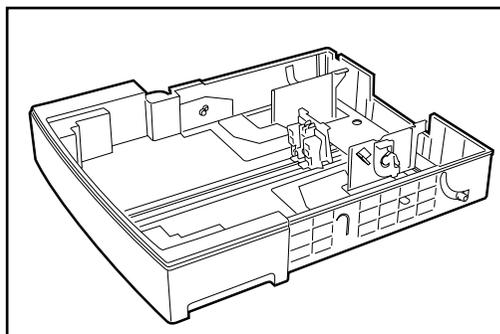
- 1 用紙カセットを平らな場所に置きます。



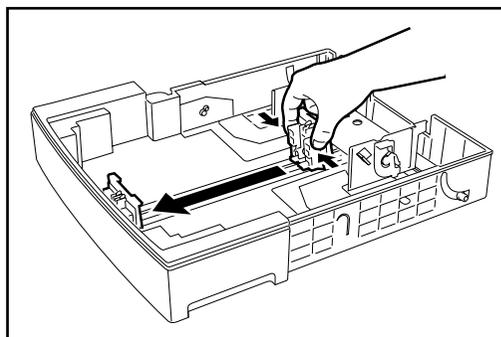
用紙カセットがプリンターにセットされている場合は、用紙カセットを手前に一度止まるまで引き出し、次に軽く持ち上げながらプリンターから抜きます。



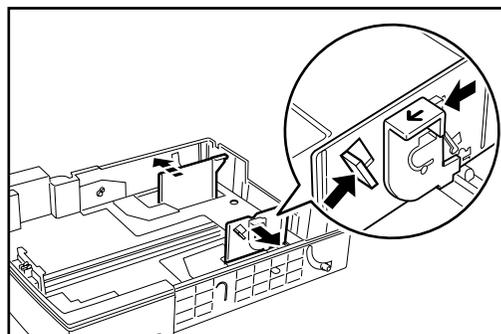
- 2 用紙カセットのフタを開けます。



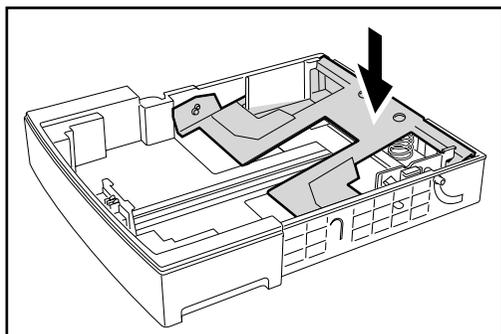
- 3** 縦ガイドクリップを指でつまみ、軽く持ち上げながら、外側にずらします。



- 4** 横ガイドクリップを指でつまみながら、外側にずらします。



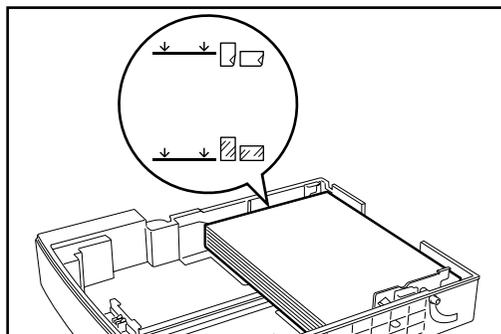
- 5** もしカセットプレートが上がっている場合には、カセットプレートを押し下げ、ロックします。



- 6** 用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にして、カセットの中央に入れます。



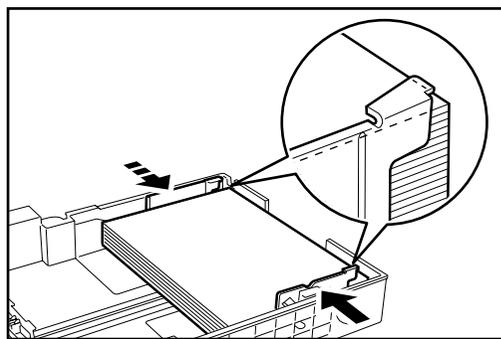
- ・折り目やしわの入った用紙は使用しないでください。また、特殊紙を使用するときは、よくさばいてから入れてください。
- ・最大収容枚数以上の用紙をセットしないでください。



7 横ガイドクリップを指で押しながら用紙の幅に合わせます。



- ・用紙が左右のツメの下にあることを確認してください。
- ・横ガイドクリップは使用する用紙の幅に正しく合わせてください。
横ガイドクリップの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。



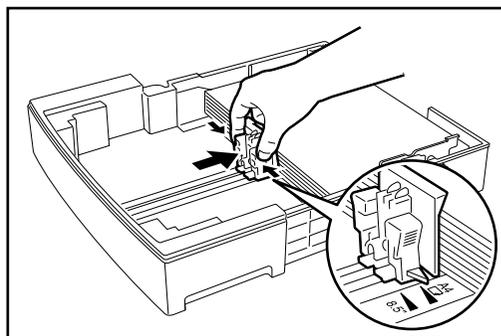
8 用紙の端をそろえたら、縦ガイドクリップと用紙ガイドの刻印を合わせます。



- ・用紙の端は縦ガイドクリップのツメの下に入れてください。
- ・縦ガイドクリップは使用する用紙の長さに正しく合わせてください。縦ガイドクリップの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。

A4サイズとレターサイズ目盛りの位置が接近していますので、縦ガイドクリップを用紙サイズ目盛りに合わせる際は間違えないよう気をつけてください。

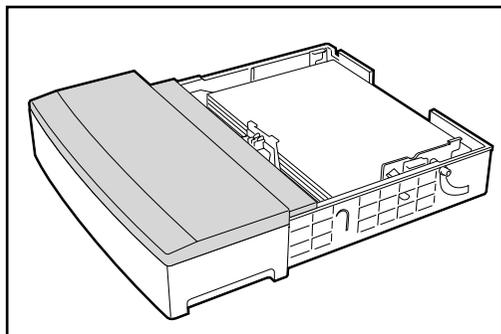
- 👉 レターサイズを使用する場合は、詳細設定 [レターサイズ アツカイ] (P.155) を参照してレターサイズの取り扱いを設定してください。



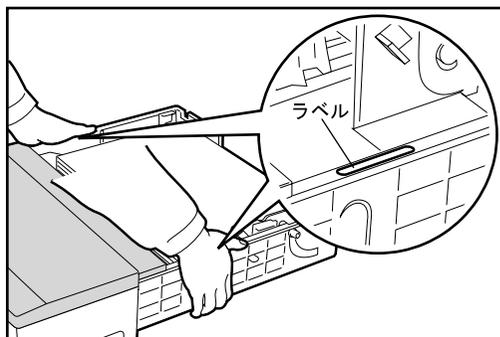
9 用紙カセットのフタを閉めます。

MEMO

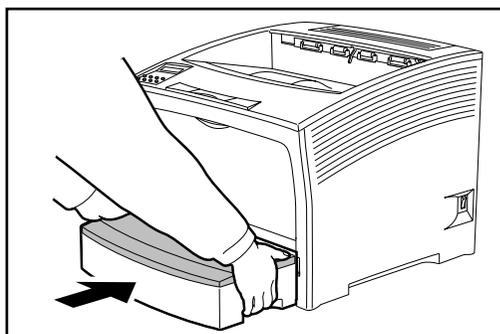
給紙カセットのフタは必ず閉めてください。外気の影響で用紙の状態が変化し、紙詰まりの原因となります。



- 10 用紙カセットの緑色のラベルが貼ってある部分を両手で持ちプリンターに差し込みます。



- 11 用紙カセットの取っ手をもちプリンターの奥に突き当たるまで押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。



電源コードを接続し、電源を入れる

電源についてのご注意

電源は、AC 100V (50 ~ 60Hz) を使用してください。
プリンターの最大消費電力 (1200W) に見合った十分な大きさの電源容量を確保してください。

電源コンセントは、次の規格のものを使用してください。

ノンロック型コンセント (3 極)

定格 : 125V15A 3 極

(JIS C8303 に規定されているもの)



コンセントが接続される分電盤の電流容量は、15A 以上必要です。

電源コンセントは、なるべくプリンター専用で使用してください。

同じコンセントから他の電気製品、特にエア・コンディショナ、複写機、シュレッダーなどの電源を取らないでください。電氣的なノイズによってプリンターが誤動作することがあります。やむをえず同じコンセントから他の機器の電源を取る場合は、市販の高周波ノイズ・フィルタまたは専用トランスなどを設置してください。

電源電圧が不安定なときは、電圧調整器などを使用して、安定した電圧を確保してください。

延長コードの使用は、なるべく避けてください。

やむをえず延長コードを使用する場合は、上記の規格以上のコードをプリンター専用で使用してください。また、接続部分を誤ってはずすことのないよう、コードは通行の妨げにならないように設置してください。

EPカートリッジと用紙のセットができれば、付属の電源コードをプリンターに接続し、電源を入れます。

MEMO

電源スイッチを入れてから約 40 秒後に印刷できる状態になります。
なお、1日の印刷作業の終わりや長期間プリンターを使用しないときは、電源スイッチを切ってください。



搬入や移動の直後に電源を入れる場合は、前面給紙トレイに用紙はセットしないでください。
用紙ジャムが発生する場合があります。

操作の手順

⚠️ 注意

1 電源スイッチがOFF () になっていることを確かめます。

2 電源コードを、プリンターの背面にある電源コード差し込み口に接続します。

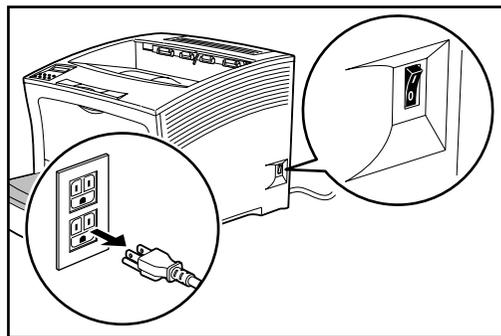
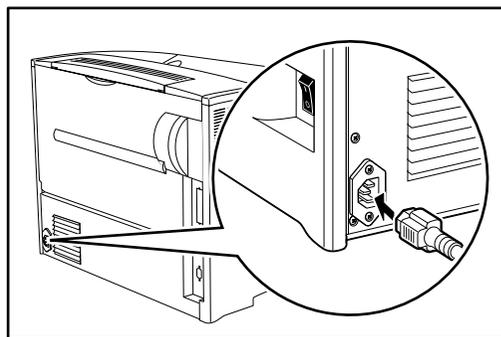
⚠️ 危険

電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

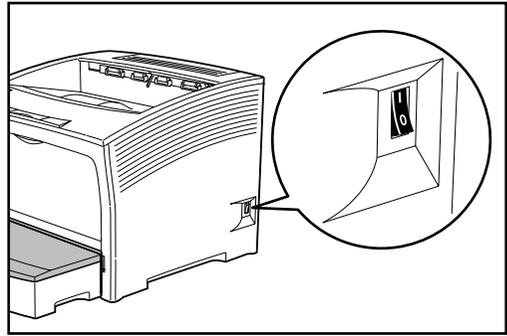
⚠️ 注意

電源プラグをコンセントから抜くときには、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

3 電源コードのもう一方のプラグを電源コンセントに差し込みます。

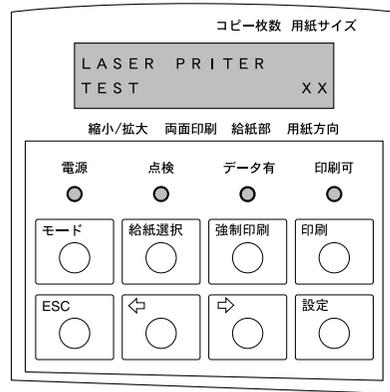


4 プリンターの右側面にある電源スイッチの (I) の側を押し、電源を入れます。

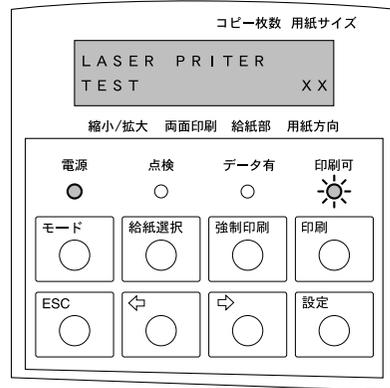


操作パネルのランプが次のように変化します。

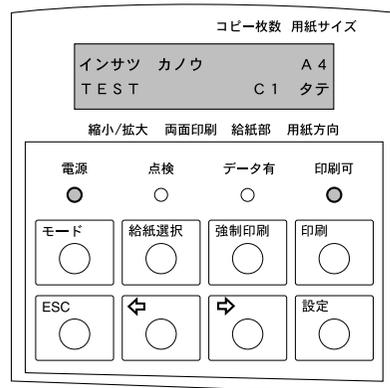
すべてのランプが順次点灯します。同時に液晶表示部が右のように表示されて、初期診断が始まります。



初期診断テスト中は、印刷可ランプが点滅します。



初期診断テストが終了すると、液晶表示部に右のように表示され、印刷可ランプが点灯します。この状態がデータを受信できる印刷可能状態です。



 電源投入時に異常がある場合は「異常時の診断」(P.184)を参照してください。

テスト印刷をして、電源を切る

印刷可能状態になったら、テスト印刷を行います。テスト印刷を行うことで、プリンターが正常に動作しているかどうかを確認できます。

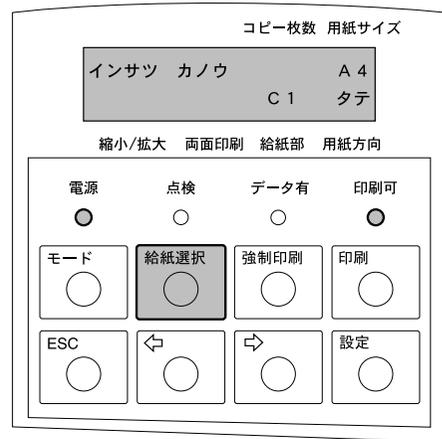
テスト印刷の操作は、プリンターの操作パネルを使って行います。

操作の手順

スイッチを押し間違えた場合などで、表示が下記の手順と違ってしまったときには、ESC スイッチを続けて押してください。

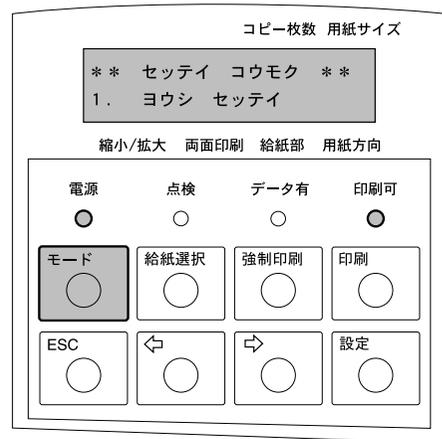
- 1 液晶表示部の給紙項目に [C 1] と表示されていることを確認します。

[C 1] (第1 結紙カセット) 以外が表示されているときには、給紙選択スイッチを押して、[C 1] を表示させます。

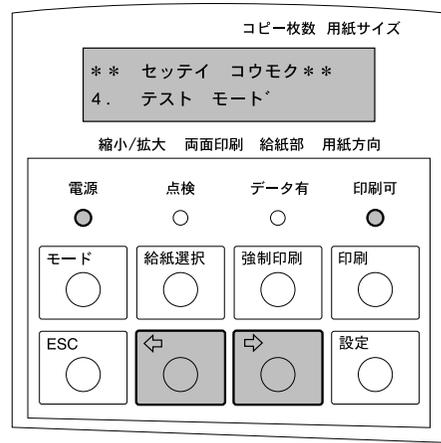


- 2 モードスイッチを押します。

表示が右のようになります。

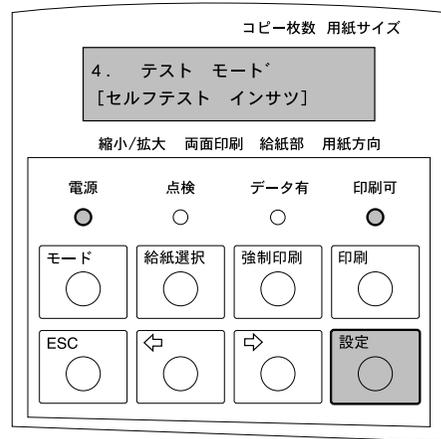


3 スイッチまたは スイッチを
押して、[4.テスト モード]を
表示します。



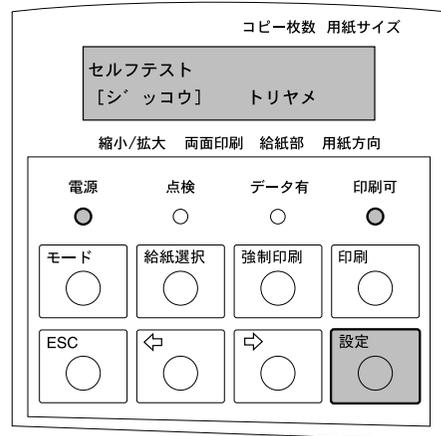
4 設定スイッチを押します。

表示が右のようになります。



5 設定スイッチを押します。

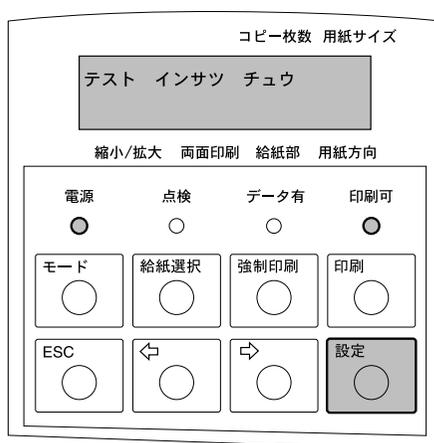
表示が右のようになります。



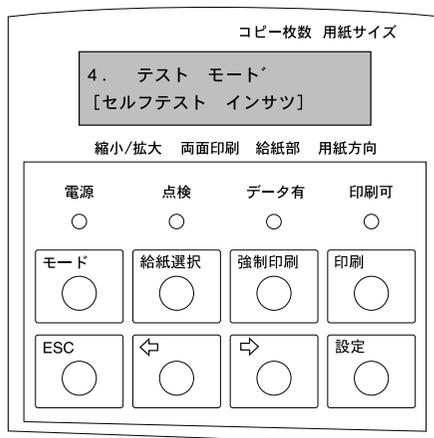
6 設定スイッチを押します。

「テスト インサツ チュウ」と表示され、テスト印刷が始まります。

- ・テスト印刷された用紙は、排紙トレイに印刷面が下向きになるように排出されます。



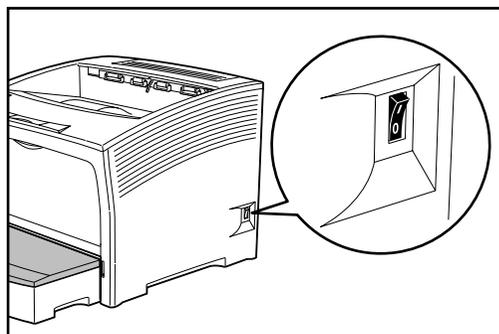
7 テスト印刷が終了すると、右の表示に戻ります。



8 最後に電源を切ります。

印刷可ランプが消えていることを確認して、電源スイッチのOFF () 側を押し、電源を切ります。

すべてのランプが消灯します。



MEMO

電源スイッチを切ると、プリンターのメモリーに蓄積されている印刷データなどの情報が消去されます。

プリンターとシステム・ユニットを接続する

テスト印刷の結果がよければ、別売のプリンター・ケーブルで、プリンターとシステム・ユニット（プリンターが接続されるコンピュータ、またはコンピュータ上で印刷を行っているアプリケーション・ソフト）を接続します。

操作の手順

- 1 プリンターおよびシステム・ユニットの電源をOFF（ ）にします。

⚠注意

- 2 プリンターおよびシステム・ユニットの電源プラグをコンセントから取りはずしてください。

- 3 プリンターとシステム・ユニットを接続します。
（プリンターをシステム・ユニットに直結する場合）
プリンター・ケーブルの一方のコネクターをプリンター背面の標準パラレル・インターフェース・コネクターに、もう一方をシステム・ユニット背面のコネクターに接続します。

それぞれ、金具またはネジでしっかり固定してください。

- 4 プリンターおよびシステム・ユニットの電源プラグをコンセントに接続します。

システム・ユニットに合わせて プリンターを設定します

お使いのシステム・ユニットやソフトウェアに合わせて、プリンタを設定する手順を説明します。システム・ユニットやソフトウェアによって、必要な手順が異なります。

設定手順の流れ

エミュレーションの設定をする



インターフェースを設定する



プリンター・ドライバーを
インストール及び設定する

お使いのオペレーティング・システムに
合わせて選択します

エミュレーションの設定をする

本プリンターには、他のプリンターの代わりとして利用できるようにする（エミュレートする）ために、エミュレーション・モードを設定する機能があります。

ソフトウェアに対応するプリンターのエミュレーション・モードを設定してください。たとえば、プリンターとしてEPSON ESC/P系プリンター（CANON BJ - 10v など）だけを指定するソフトウェアをお使いの場合は「ESC/P」エミュレーション・モードを指定すると、本プリンターでの印刷ができるようになります。

エミュレーション・モードの設定は、モード設定の[3・インターフェース セッテイ]の[パラレル セッテイ]または[AIO セッテイ]の[エミュレーション]で行います。

[インターフェース セッテイ]には、次の2つの選択肢があります。

パラレル セッテイ	パラレル・インターフェースからデータが送られたときのインターフェースおよびエミュレーション・モードを設定する
AIO セッテイ	ネットワーク・インターフェースからデータが送られたときのエミュレーション・モードを設定する

AIO: Auxiliary Input Output (補助入出力)の略称です。

たとえば、データがパラレル・インターフェースから送られてきた場合には[パラレル セッテイ]の[インターフェース モード]で設定されているエミュレーション・モードになります。

パラレル、AIO の各インターフェースには、それぞれ次のようなエミュレーション・モードが設定できます。

選択肢	内 容
PAGES	PAGESプリンターとして使用する
5577	IBM 5577系プリンターの互換機として使用する
ESC/P	ESC/P、BJ-10系プリンターの互換機として使用する
201PL	PC-PR201系プリンターの互換機として使用する
16シン ダンプ	16進ダンプデータを印刷する



IBMのオンライン系アプリケーション(3270PC、5250PCなど)をお使いになる場合はパラレル・インターフェースでお使いください。特に5250PC、3477Jを使用される場合は、パラレル・インターフェースでのみ使用可能です。また、この場合AIO(ネットワーク・インターフェース)の使用はできなくなりますのでご注意ください。

5250PC(IBMのオンライン・アプリケーション)あるいは3477-J(IBMの日本語ワークステーション)を使用するときエミュレーションとして「5577」を選択します。



3270PCから印刷をする場合に、パワー・セーブ中に印刷を行うと文字化けすることがあります。3270PCシステム生成でプリンター・チェック時間を4分に変更してください。

インターフェースを設定する

本プリンターには、通常使用するパラレル・インターフェースのモードとしていくつかのモードがあります。

お使いのシステム・ユニット/ソフトウェアによって、プリンターのパラレル・インターフェースのモードを設定します。

通常（以下の場合以外）

工場出荷値は「スタンダード」になっています。「スタンダード F」を選択すると高速にデータ転送を行うことができますが、旧型のシステム・ユニットをご使用になるときに、データが正しく印刷できないなどの問題が発生する場合は、「スタンダード」でご使用ください。

IBM RISC System/6000でプリンター・インターフェースをStandardにしたとき

「PS/2 エイゴ」を選択

IBM PCを英語モードで使用するとき

「PS/2 エイゴ」を選択

設定操作については、「インターフェース設定[3. インターフェースセットイ]」(P.135)を参照してください。



IBMのオンライン系アプリケーションを使用される場合は、「エミュレーションの設定をする」(P.35)を参照してください。

IBM5250PC/3270PC、IBM OS/2、IBM日本語DOSをお使いの場合は製品販売店または弊社営業担当員までお問い合わせください。

MEMO

関連項目として「インターフェース設定[3. インターフェースセットイ]」(P.135)を参照してください。

プリンター・ドライバーをインストール及び設定する

システム・ユニットからデータを印刷するには、プリンター・ドライバーをシステム・ユニットに登録する必要があります。プリンター・ドライバーは、システム・ユニットによって異なります。本プリンターには、Windows 95 / 98 / Me用、Windows NT 4.0用、Windows 2000用のプリンター・ドライバーが同梱されています。

Windows用のプリンター・ドライバーをインストールする

Windowsが導入してあるシステム・ユニットからのデータを印刷するには、Windows用プリンター・ドライバーをインストールします。本プリンターに付属しているサポートCDには、Windows日本語版用プリンター・ドライバーが入っています。Windowsのバージョンによって、以下のディレクトリにあるプリンター・ドライバーをインストールします。

Windows 95/98/Me 日本語版	:Driver¥WIN9XME
Windows NT 4.0 日本語版	:Driver¥NT40
Windows 2000 日本語版	:Driver¥WIN2000

インストールの方法は、Windows 標準の「プリンタの追加ウィザード」を使用して行います。詳しくは、サポートCDの中のWindowsのバージョンにあわせたREADME.TXTファイルおよびWindowsのマニュアルを参照してください。また、プリンター・ドライバーの設定項目などについても、同様にREADME.TXTファイルに詳細な説明がありますので参照してください。

以降のOSのサポート状況については、弊社営業担当員にお問い合わせください。またはホームページ(<http://www.ibm.co.jp/printer/>)を参照ください。

MEMO

Windows環境で印刷した場合、解像度の違いにより、5589-K20と印刷結果が異なる場合があります。これを回避するには5589-K20のプリンター・ドライバーを導入する必要があります。

5589-K20のプリンター・ドライバーは、サポートCDのディレクトリ“Others”に入っています。

Infoprint20/Infoprint40でPAGESオプションをご使用のお客様へ印刷データの生成方法が異なるため、出力結果が異なる場合があります。

お問い合わせは製品販売店または弊社営業担当員までお願いします。

OS/2 Warp 用のプリンター・ドライバーをインストールする

OS/2 Warp V3 が導入されているシステム・ユニットの OS/2 からデータを印刷するには、OS/2 のシステム・ディスクから 5588-H02 のプリンター・ドライバーをインストールして下さい。

ただし、OS/2 用 5588-H02 プリンター・ドライバーを使用する場合、システム・ユニットから両面印刷オプションの制御を行うことはできません。

MEMO

- ・プリンターの設定を変更するとき
使用するソフトウェアによって、ソフトウェア上でのプリンター指定が異なります。プリンターの指定を正しく行わないと、正しい印刷結果が得られないのでご注意ください。
- ・プリンター指定の方法について
「付録 E エミュレーションの解説」と、ご使用のソフトウェアの説明書を参照してください。

以上で、プリンターの設置は終了です。

印刷操作については、「基本操作編 (P.42)」をお読みください。

重要

このモードでパラレル・インターフェースに接続してご使用の場合は、パラレル・インターフェースのエミュレーション設定を PAGES または 5577、インターフェース設定をコンバージドに設定する必要がありますので、製品販売店または弊社営業担当員までお問い合わせください。

IBM 日本語版 DOS J4.0/J5.0 の設定

DOSを導入後、下記の手順で設定を変更してください。
以下、DOSがCドライブのディレクトリDOSの下に導入されている場合の例で説明します。

操作の手順

- 1 CONFIG.SYSファイルの以下の行を、EDLINなどのテキスト・エディタを使って書き換えます。
D31022065-1/
変更前 : DEVICE=C:¥DOS¥\$PRN24E.SYS
↓
変更後 : DEVICE=C:¥DOS¥PRN32.SYS/NC/NECC
- 2 DOSを再起動します。



このモードでパラレル・インターフェースに接続してご使用の場合は、パラレル・インターフェースのエミュレーション設定を PAGES または 5577、インターフェース設定をコンバージドに設定する必要がありますので、製品販売店または弊社営業担当員までお問い合わせください。

最新のプリンター・ドライバーの入手先

プリンター・ドライバーはより良い印刷環境を実現するためにバージョン・アップすることがあります。

インターネットのダウンロード・サービスをご利用されると、最新版が入手できます。

最新のドライバー、ユーティリティーの入手先

URL <http://www.ibm.co.jp/printer/>